

今年は私たち長門市民にとりまして大変うれしい出来事がありました。安倍晋三先生が第90代内閣総理大臣にご就任をされました。

この1年半を振り返ってみますと、合併当初に比べれば、比較的一体感というものはかなり醸成されてきたのではないかと思います。

合併2年目にあたる今年におきましては、合併前に定めました新市建設計画を一步ずつ前に進めていくというところで、その一步を踏み出す「新市建設元年」という位置付けをさせていただいております。

私たち長門市は「1次産業を基幹産業としております。新市建設計画の中に「6次産業の推進」という計画を設けております。これを実行に移すため、今年度から商工観光課の中に「6次産業推進室」を設けさせていただき、6次産業の推進に努めているところでもございます。

私たちが共通して持つております豊かな自然を次世代にしっかりと残していくためにはいけません。最近市内の

「豊饒の海と大地に笑顔行き交う未来のまち」実現に向けて、市民の皆さんからのご意見やご要望を直接お聴きする「まちづくり懇談会」を9月21日の依山地区を皮切りに、11月28日の川尻地区まで市内15会場で開催し、多くのご参加をいただきました。

まちづくりを進めていく上で貴重なご意見・ご提言をいただき、大変有意義な懇談会になりました。心からお礼申し上げます。

懇談会では松林市長がまちづくりへの取り組みについて説明を行い、市の担当者が「平成18年度の主要施策」、「各地区の主要事業」、「長門市総合計画案」について説明しました。引き続き行われた参加者との意見交換会では、各地区で懸案となっている課題をはじめ、新市のまちづくりに関する提言など幅広い意見が交換されました。

松林市長の「まちづくりへの取り組みについて」の概要と、皆さんからいただいたご意見やご提言の中から主なものを紹介します。

まちづくり懇談会 開催日程		10月17日(火)	野波瀬地区
9月21日(木)	俵山地区	10月26日(木)	黄波戸地区
9月25日(月)	渋木・真木地区	10月31日(火)	日置地区
9月28日(木)	深川地区	11月14日(火)	菱海地区
10月 2日(月)	仙崎地区	11月16日(木)	伊上地区
10月 5日(木)	通地区	11月21日(火)	宇津賀地区
10月10日(火)	三隅上地区	11月24日(金)	向津具地区
10月12日(木)	三隅中・下地区	11月28日(火)	川尻地区

ろでございます。引き続き協力を賜いますとともに、期間中にはご参加いただきたいと思います。

そして、2011年に開催される山口国体ですが、私たちの長門市では「少年ラグビー」と「空手道」、「自転車ロードレース」。また、「デモンストレーション」として「シーカヤック」が開催される予定です。これに向けて準備を進めてまいります。この山口国体を更に市民力を強くできればと思っています。

今年から、教育長をはじめ教育委員会がこのまちづくり懇談会に出席させていただいております。まちづくりはまさに人づくりから始まります。そこには教育が不可欠です。

最近特に、教育はいろいろな面で注目を浴びております。今日はそうした教育問題も含めましてお気づき、ご意見等を賜つたらと思っております。

現在、市では向こう10カ年のまちづくりの指針となります「長門市総合計画」を策定しております。今日はその素案を皆さまにお示しいたしまして、ご意見を賜りながら、計画を更に良いものにしていくことを思っております。

今後このような懇談会を定期的に開催し、皆さま方からのご意見・ご提言をお聴きする機会を設け、市政に反映させてまいりたいと思います。



問 北長門海岸の美しい風景を活用しない手はない。世界遺産の指定に向けて頑張ってみてはどうですか

答 私も同感です。6次産業の主軸は1次産業を目標にしておりますが、その入口は観光業を意識しております。何といたしても長門市には北長門海岸国定公園をはじめ、長門温泉郷五名湯などたくさんの観光資源に恵まれております。しかし、海の自然景観につきましては、漂着ゴミ等で非常に汚れています。観せるためには、きれいにしなければなりません。こうしたことから今年を「環境美化元年」と位置付け、7月の長門市海岸清掃の日には多くの市民の皆さんにご参加をいただき、市内の海岸清掃を行いました。何か新しいものを作ることも大事ですが、今あるものを大切に、それを資源に人を引きつける。そして私たちが作ったものを売っていく、これが6次産業の典型的な形です。いただいたご意見を大切にして、6次産業の推進にも取り組みたいです。

主な質問・提言等

皆さんからの質問と提言にお答えします

総合交通対策の推進

問 国道191号の白湯小浜地区の工事が長く、通学に危険な状態です。早期整備をお願いします

答 この工事箇所は、車の交通量が多い所です。昨年も大きな事故が発生しており、十分認識しております。この工事は、国土交通省の直轄事業として進められていますが、一部で用地買収が完了していないと聞いております。通勤・通学の安全確保や車の走行の安全性からも、早期整備を国土交通省に申し入れていくところです。

問 生活バス路線の確保と低料金をお願いします

答 市民の皆さんの通院・通学・買い物等の利便性確保のため、市内で運行している3つのバス事業者に対し補助金を支出しています。このままでは確実に赤字補填が増えていきますので、現在「バス路線検討委員会」の中で、公共性や福祉性を考慮しながら長門市における「バス運行のあり方」について検討していただいております。今年度内に方向性をお示しすることができると思います。

学校教育の充実

問 油谷小学校の改築はいつ頃になるのでしょうか

答 市内の小中学校の内、建築後40年以上を経過した校舎が小学校で4校、中学校で1校あります。これら校舎の改築にあたっては、建築後の年数による老朽化と耐震性、更に小・中学校の適正配置の面から、計画的な施設整備を図っていく必要があります。今年度、市内の小・中学校の統廃合を含めた「小中学校適正配置計画」をはじめ、耐震化計画や維持改修計画を含めた「学校施設整備計画」を策定しているところです。

老朽校舎の整備にあたっては、厳しい財政状況も考慮し、施設の老朽化や耐震診断による耐震性等を総合的に検討し、優先順位をつけて年次的に実施していくことになります。現在、教育委員会では油谷小学校より7年古い深川小学校を先に整備し、その次に油谷小学校の整備を行う方針です。もちろん、学習に支障の無い範囲で修理等は順次行っていききたいと思っています。



住環境の整備

問 合併して周辺部が取り残されているように感じます。隅々まで行き届く行政運営をお願いします

答 市長就任当初から申しておりますように、合併後の事業をスムーズに推進していくためには「市民の一体感の醸成」が何よりも必要であり、そのためには、生活環境基盤の平準化に努めることが私の最重要課題であると考えております。特に、下水道や情報基盤整備には重点的に取り組んでいるところです。市民の皆さんとの対話と合意により、必要な施策を進めていくことが私の信条です。市民の皆さんの要望は多岐にわたり財政も厳しい状況ではありますが、計画性を持って年次の対応していきたいと思っています。

情報通信網の整備

問 携帯電話が入らない地域があるのを解消していただきたい

答 携帯電話不通話地区の解消については、民間事業者3社に対し、要望書を提出するなど機会があることにお願しているところです。世帯数や車の通行量が基準を満たさないという理由で現時点での対応は困難であるが継続して検討するとの回答ですが、市民の安全を確保するという面からも引き続き要望していききたいと思っています。

6次産業づくりの推進

問 仙崎に水揚げされた水産物のブランド化を進めて欲しい

答 今年度から商工観光課内に「6次産業推進室」を設置し、1次産業と2次・3次産業との連携により、1次産業のより一層の推進を図ることとしています。その中で、仙崎漁港に水揚げされる魚介類を含めた長門市の特産品について、地域ブランド化を進め、全国に情報発信しながら地域産業を活性化させたいと思っています。

また現在、県が実施主体となり、平成21年度の完成を目指して仙崎市場整備が行われています。この計画では、水揚げされた魚介類の品質向上のための高度衛生管理システムや特産品売り場等が併設されることとなっています。これにより、仙崎ブランドの推進を含め、水産業の更なる振興が期待されることから、早期整備を県に要望していききたいと思っています。

循環型社会の形成

問 ゴミの収集回数は地区によって違いますが統一されるのですか

答 三隅地区では旧三隅町時代からの継続で週3回可燃ゴミを収集しており、他の地域の週2回収集と差があります。当分の間は現行のとおりですが、将来的には、資源の有効活用と燃

その他

問 税金等滞納者への徴収対策を徹底して欲しい

答 市税や国民健康保険料、水道料など多額の滞納があります。特に自主財源の乏しい本市にとっては投資的経費に直接影響することになります。こうしたことから、合併した昨年10月から「徴収対策本部」を庁内に立ち上げ、具体的な数値目標を設定しながら取り組んでいるところです。また、今年の10月からは、関係部課長によるプロジェクトチームを組織し、徴収強化月間を設定して夜間臨戸徴収等も行っていきます。特に徴収困難な悪質な滞納者に対しては、財産差し押さえなど法的措置も実施しているところです。

優良納税者に対し納税意識低下につながるような、また、税の公平負担という観点からも庁内全課あげて強力に取り組んでいるところです。

問 市職員の定員削減はどうなっているのですか

答 退職者に対して新規採用を抑えていく方法で削減していきます。今年3月に策定しました「長門市経営改革プラン」の「定員適正化計画」では、向こう10年間で100人削減する計画となっています。退職者数から新規採用者数を差し引いた削減数は、今年度の実績が6人、来年度4月には24人程度を見込んでいます。

えるゴミの減量化対策として、容器包装リサイクル法に基づく「プラスチック製および紙製容器」の分別収集の実施など、収集体制の見直しに合わせ、収集回数等を含めた市民サービスの標準化を図っていききたいと思っています。

問 市外から川にカニやタニシなどを捕りにきてゴミを放置して帰るが、取り締まりできないでしょうか

答 河川組合がある地域は、法律により取り締まることができませんが、その他の地域は法律による規制措置がありません。市の生物としてホタルを指定しましたので、ホタルが成育できる環境づくりのため、河川環境監視員等の設置を検討したいと思います。

生涯学習の充実

問 高齢者の生涯学習活動で公民館を利用していますが、冷暖房費を免除していただけないでしょうか

答 公民館の使用料は、社会教育関係団体の登録をいただければ減免により無料になります。冷暖房の使用については、使用者のみがその便宜を受けるもので、使用されない方の公平性の観点から、平成18年度から電気代・燃料代等の実費として冷暖房使用料を負担していただいております。財政状況が厳しい中、行政サービス水準を確保するためにも、ご理解をいただきたいと思います。

「意見・要望等

お寄せいただきました貴重なご意見やご提言は、直ちに解決できるもの、また、検討を要するものや即座に対応することが困難な問題もありましたが、庁内で十分検討し、少しでも皆さまのご期待にお応えできるよう努力したいと考えております。ご意見、ご要望、ご提言の内容は次のとおりです。

・生活関連道整備	25件
・学校教育の充実	18件
・観光地づくり	12件
・防災・防犯体制の強化	12件
・農林業の振興	9件
・6次産業・産業活性化	6件
・高齢者・障害者福祉	6件
・ゴミ対策	5件
・人口定住・若者定住対策	5件
・下水道・合併処理浄化槽整備	4件
・生活バス路線整備	4件
・河川愛護・河川整備	3件
・まちなみ・景観づくり	3件
・有害鳥獣対策	3件
・健康づくり	3件
・児童福祉の充実	3件
・地域福祉の充実	3件
・その他	26件
合計	154件

問い合わせ 秘書広報課 広報広聴係

TEL 23・11117